

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：荒瀬 美和

事業名	地高 I C アクセス 金沢外環状道路 海側幹線IV期 一般県道蚊爪森本停車場線	事業区分	地方道	事業主体	石川県
起終点	自：石川県金沢市千木町 至：石川県金沢市福久町			延長	0.7 km
事業概要					
一般県道蚊爪森本停車場線（I C アクセス）は、地域高規格道路 金沢外環状道路の一部を構成する道路であり、渋滞緩和、物流拠点間のアクセス向上、広域交流の促進等を目的とし、石川県金沢市千木町～金沢市福久町までの延長約0.7 kmを整備するものである。					
H24年度事業化		H24年度都市計画決定		H24年度用地着手	
H26年度工事着手					
全体事業費	約80億円	事業進捗率	約83%	供用済延長	— km
計画交通量	31,700台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 2.6 (残事業) 10.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 123/479億円 〔事業費：118/475億円 維持管理費：4.7/4.7億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,294/1,294億円 〔走行時間短縮便益：1,057/1,057億円 走行経費減少便益：155/155億円 交通事故減少便益：81/81億円〕	基準年	令和2年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=2.4~3.1 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=9.4~12.2 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.4~2.9 (事業費±10%) 事業費：B/C=8.0~15.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.6~2.7 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=10.4~10.8 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 金沢都市圏の骨格を形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・山側幹線と一体となって環状道路ネットワークを構築し、金沢都市圏の骨格を形成。</li> </ul> </li> <li>② 加賀・金沢・能登の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・加賀・金沢・能登をつなぐ、広域交流ネットワークの基盤を形成。</li> </ul> </li> <li>③ 周辺道路の慢性的な交通渋滞の緩和 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号など周辺道路の慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、金沢都市圏全体における交通分散の効果を発揮。</li> </ul> </li> <li>④ 陸・海・空の交流基盤の連結 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸自動車道、日本海側の国際物流拠点港である金沢港、日本海側の拠点空港である小松空港といった陸・海・空の交流基盤を連結。</li> </ul> </li> <li>⑤ 地域の発展と活性化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺に位置する工業団地の物流機能を向上し、多くの人やものを呼び込み、地域の活力を一層高める。</li> </ul> </li> </ol>					
関係する地方公共団体等の意見					
都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率100%、事業進捗率約83%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
令和4年度末までの山側2車線暫定供用を目指す。					

施設の構造や工法の変更等

今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

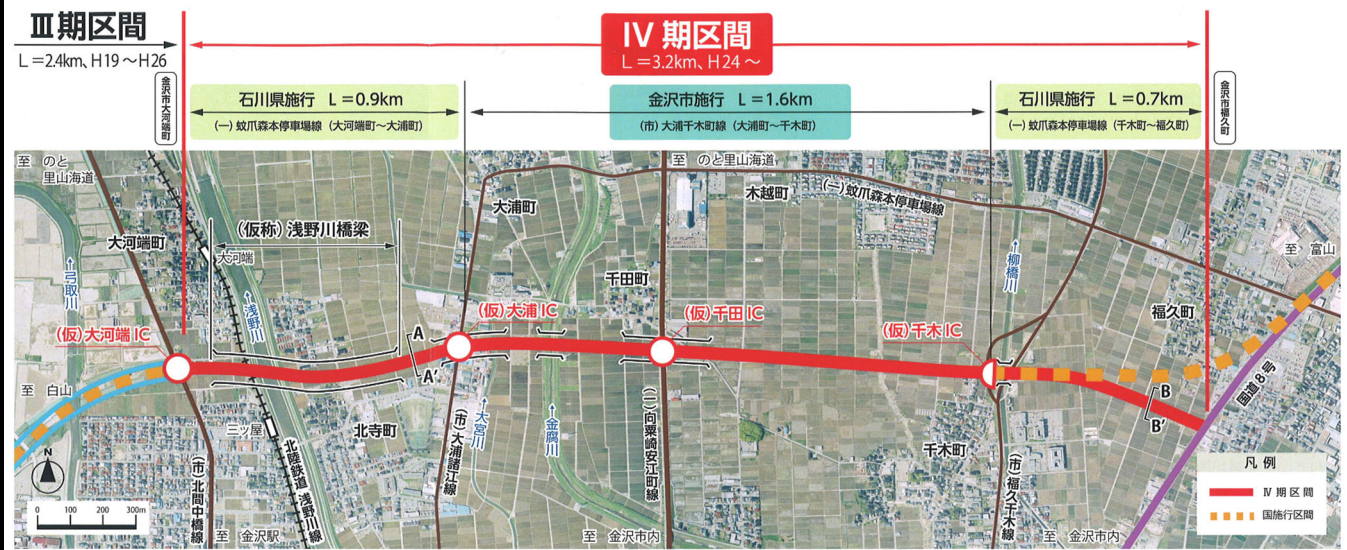
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。